

タケシールゴムシートプライマー

加硫ゴムシート防水専用下塗り材

水系低臭で作業性に優れ、水系保護化粧材とゴムシート防水材との密着を良くするために開発された下塗り材です。

用途 加硫ゴムシート防水層への水系保護材塗り重ね用下塗り

荷姿 15kg缶 ・ 4kgポリ容器

標準塗布量 0.1～0.15kg/㎡

塗布可能面積 15kg缶：100～150㎡

4kg缶：26.6～40㎡

乾燥時間 1時間以上（25℃）

- 施工要領**
1. 既存ゴムシート防水層表面を十分に清掃します。汚れの酷い場合は洗浄します。油分などがある場合は、洗剤にて洗浄します。
 2. 十分な乾燥養生を行います。
 3. 既存シート防水面に1回あたり（0.1～0.15kg/㎡）の塗布量を液溜まりができないように注意しながら、ローラーで刷り込むように塗布します。
 4. 乾燥硬化確認の上、水系保護塗料を塗布します。

注意事項

取扱い上の注意

- ・既存ゴムシート防水層に破損がある場合は、事前に適切な方法で補修を行ってください。
- ・下地に残る、脆く浮いた旧塗膜がある場合は取り除いてください。
- ・表面の汚れが酷い場合や、新設のゴムシートで表面にワックス（油分）分などが付着している場合は、中性洗剤をデッキブラシなどを用いて洗浄します。
- ・夏季、気温が高く下地温度が40℃を超える場合塗りにくくなる場合があります。塗りにくい場合は、10%以内（重量比）で水道水を加え塗布してください。
- ・冬季、気温が5℃以下となる場合は、施工を避けてください。
- ・施工中、施工後5時間以内に降雨、降雪が予測される場合は、施工しないでください。
- ・取扱いの際は、保護マスク・保護眼鏡・保護手袋など適切な保護具を着用してください。
- ・内容物がこぼれた場合には、乾いた布で拭き取り汚染した布は産業廃棄物として処理してください。
- ・空間及び残塗料を処分する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- ・保管は、屋内の通気の良い場所で容器を密閉、凍結しないように注意し保管してください。
- ・取扱い後は、手洗い・うがいを十分に行ってください。

応急措置

- ・眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗いコンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けてください。眼に刺激が続く場合は、医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合は、速やかに洗剤と水で洗い落とし、痛みや外観に変化がある場合は、医師の診断を受けてください。
- ・蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所に移し、呼吸しやすい体制で休息させ、気分が悪い場合は、医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
- ・他、商品の安全な取り扱いについては、安全データシート（SDS）を参照ください。

品質保持期限

出荷後6か月

製造元

改訂 202006-U

品竹林化学工業株式会社

〒577-0836

大阪府東大阪市渋川町3丁目1-43

TEL：06-6721-6165（代）

URL：https://www.takebayashi-ci.com/

E-mail：info@takebayashi-ci.com